



栄養科の紹介



栄養科の業務は、管理栄養士・栄養士・調理師等が患者様の栄養管理、給食管理を行っています。

＊**栄養管理**→入院の方の栄養状態を医師・看護師・他職種スタッフと共同し管理、栄養指導等

＊**給食管理**→入院の方の献立作成、食事を作り提供



給食の内容

- ・一般食（特別な制限のない食事→常食、全粥食、幼児食等）
- ・特別食（医師から病状等に応じて必要な栄養量の指示を受けた食事→糖尿食、肝臓食、腎臓食等）



また、月に1回行事食、3か月に1回地産地消費を提供しています。

出産後の方には病院から祝福の意を込めて、お祝い膳を提供しております。

今後も安心安全な食事の提供ができるよう、栄養科一同力を合わせ、業務に努めてまいります。



マンモグラフィ装置が更新されました

マンモグラフィ検査とは

乳腺撮影専用のX線装置を用いた検査です。乳房を片方ずつ上下あるいは左右から圧迫し薄く平らにして撮影を行います。この検査では、腫瘤（しこり）や石灰化、乳腺のゆがみなどを確認することができるので、早期乳がんの発見に有用です。

新しいマンモグラフィ装置のご紹介

2023年11月にマンモグラフィ装置が更新されました。今回導入されたのはFUJIFILM AMULET SOPHINITY（富士フィルムメディカル社製 アミュレット ソフィニティ）という装置です。この装置は国内外において初導入となります。この装置の優れた機能をいくつかご紹介いたします。

圧迫自動減圧制御「なごむね」

マンモグラフィ検査は乳房を圧迫するため、痛いというイメージを持たれている方も少なくないと思います。しかしながら、この「なごむね」という機能を使用すると、乳房の厚みが変化しない範囲で圧迫圧を減圧するため、従来の画像とあまり変化がなく痛みの少ない検査が可能となります。他にも、撮影部を薄型、サイドのふくらみを抑えた形状にして撮影部中央に凹みを設けることにより受診者の窮屈感を低減する設計となっています。

AI技術を使用したポジショニング解析

撮影した画像から、ポジショニング状態を解析した結果が表示されます。解析を続けていくことで、今後の改善点を把握でき、ポジショニング技術の向上に役立つと期待されます。

部屋の内装・読影環境も新しくなりました

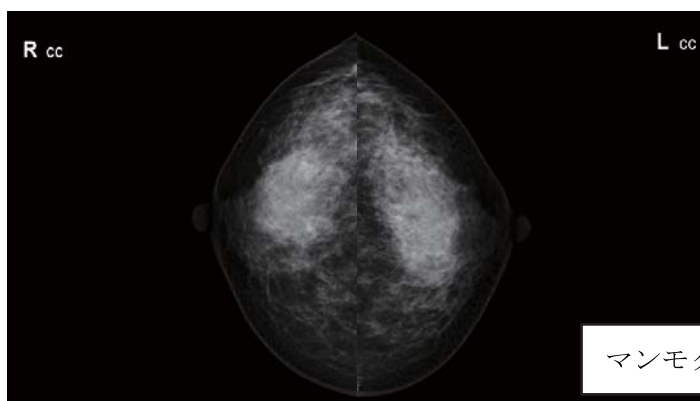
マンモグラフィ装置の更新に伴い、撮影室の壁と床を一新しました。とても可愛い色合いとなっていますので、マンモグラフィ検査を受ける際には、ぜひ注目してみてください。また、マンモグラフィ画像を診断するモニタも新しくなり高輝度高画質になったことで、より微細な変化を捉えやすくなりました。

最後に

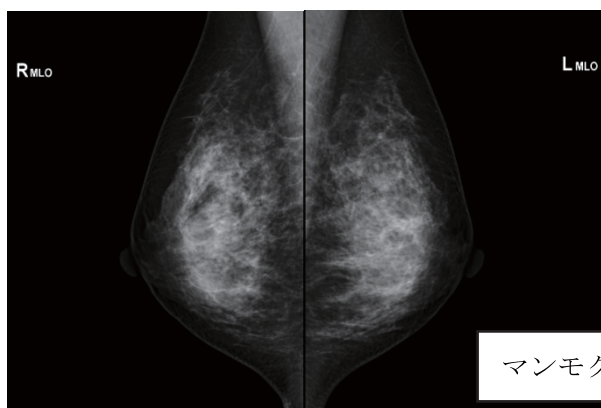
乳がんは早期に見つければ、治りやすいがんです。今までマンモグラフィ検査は痛いからと嫌厭されていた方にも、マンモグラフィ検査を受けていただければと思います。ぜひ、ご近所の方同士でお誘いいただき、マンモグラフィ検査を受診してみてください。



FUJIFILM AMULET SOPHINITY



マンモグラフィ画像



マンモグラフィ画像

遠軽厚生病院広報誌「にじ」の第23号を発刊いたしました。地域の皆様に、当院の医療活動を紹介させていただくことを目的とし、今後も号を重ねていく予定です。

当誌に関する御意見・御要望がございましたら、広報誌編集委員会まで御連絡いただけますよう、お願い申し上げます。

編集委員長・小児科主任部長 田中 聡

